

申「2023年度賃金引き上げ等に 9号 関する申し入れ」 第1回交渉を 終わる!

本部は3月2日に、「2023年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」の第1回目の団体交渉を行いました。趣旨説明となる1回目の交渉の中では、**組合員・社員の現実を直視し、生活向上、魅力と期待の持てるJR東日本グループを実現するため、組合員・社員を第一とした経営姿勢で満額での回答**を強く求めました。これに対し、会社は以下の現状認識と基本的スタンスを示しました。

- コロナ禍においても、当社の社会的使命を遂行していただいていることに改めて感謝申し上げる。
- 基準内賃金は長期に渡り総額人件費に多大なる影響を及ぼすことから、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向も勘案して**慎重な判断**が必要である。
- 定期昇給やベースアップは、**環境の変化に対応するための生産性向上に対する社員の貢献分への成果配分**という観点を基本として、その時々々の状況などに応じた要素を加味しながら、毎年度の経営状況を踏まえ、総合的に勘案して決定する。
- 第3四半期決算で黒字を確保したが、通期の業績は必ずしも楽観視できるものではない。
- 総額人件費に与える影響等も踏まえて総合的に勘案し、**慎重に判断する**と考えている。

交渉後の報告集会で出た意見



JR発足時、会社はリーディングカンパニーを目指すと言っていた。国鉄からJRに変わっても一生懸命現場で頑張ってきた。賃上げをリードしてリーディングカンパニーを目指すべきだ!

社員の努力や黒字をいくら言っても会社には響かないと感じた。会社は労働者の声を聞くべきだ!

会社の出さないスタンスは変わっていない。安い賃金で労働者を働かせようとしている。指導職よりも主任職が上だから、と格差をつけようとしてきているのではないのか。

いつも通りの回答。工務職場は手当が無いので生活が厳しい。障害対応に出ても「お疲れ様」の声もない。激励品の質を下げコストダウンするなら、賃上げを!

怒りを乗り越えて呆れる。未加入者とも話をしているが、皆が苦しんでいる。会社は私たち労働者を一体どうしようとしているのか。このままでは離職者は増える一方だ!

会社のスタンスを見た時、また離職者が増えると感じた。未加入者との会話の中で、苦しいのは皆同じであり、世間相場的にも誰もが期待している。

コロナ前に戻らないと言いながら、いつまでコロナ前と比較するのか。株価も上がっていない。株主も期待していない。